

北海道情報大学広報誌

# ほのたまご

2016(H28)年3月20日発行

VOL  
65

- 学長に何でも聞いてちょう！ Vol.3
- 平成27年度学位記授与式
- 大学説明会を東京で開催
- 3年生の就職活動がスタート
- OB・OG交流会開催
- JR札幌駅PASEO  
「学生たちによるプロジェクションマッピング」
- 安田研究室と映像研究部で江別市公式CMを制作
- 「日中文化交流サロン」に参加して
- 第8回北海道情報大学図書館賞
- この先生の裏の顔 第7回 先端経営学科 穴田有一先生
- 平成27年度北海道情報大学公開講座 終了報告
- ゼミ紹介 内山ゼミ・高橋ゼミ・遠藤ゼミ・広奥ゼミ
- 先生ってこんな研究しているんだ!!  
医療情報学科 中林秀和先生

# 北海道情報大学広報誌 ななかまど

2016 (H28) 年 3 月 20 日

## CONTENTS — もくじ

# VOL. 65

- 01 表紙
- 02 目次
- 03-04 学長に何でも聞いてちょう！ Vol.3
- 05 大学院生経営情報学研究所(修士課程)の学会発表
- 06-07 平成27年度学位記授与式
- 08 大学説明会を東京で開催
- 09 3年生の就職活動がスタート、「OB・OG交流会」開催
- 10 JR札幌駅PASEO25周年記念「学生たちによるプロジェクトマップ」
- 11 安田研究室と映像研究部で江別市公式CMを制作
- 12-13 「日中文化交流サロン」に参加して
- 14 第8回北海道情報大学図書館賞表彰式
- 15-16 図書館賞 読書感想文 優秀賞『白ゆき姫殺人事件』から学ぶこと  
情報メディア学部 情報メディア学科 3年 早瀬仁哉
- 17 この先生の裏の顔 第7回 先端経営学科 穴田有一先生
- 18-19 平成27年度北海道情報大学公開講座 終了報告
- 20-21 ゼミ紹介 システム情報学科 内山ゼミ・医療情報学科 高橋ゼミ  
先端経営学科 遠藤ゼミ・情報メディア学科 広奥ゼミ
- 22 先生ってこんな研究しているんだ!! 医療情報学科 中林秀和先生
- 23 大学主要行事など <11月1日~2月29日>
- 24 ななかまど編集隊 Vol.65

H28.3月2日、富士学長と6人の各学部の学生で座談会を行いました。なんと！今回は春休み期間でカフェが休みということで学長室にて開催！。初めて学長室に入った学生もいて、学長とのお話だけでなく、貴重な体験ができる会でした。



今回参加した学生



情報メディア学部  
情報メディア学科3年  
山浦 征人



情報メディア学部  
情報メディア学科2年  
諸岡 健吾



経営情報学部  
システム情報学科3年  
中道 大樹



経営情報学部  
先端経営学科3年  
山沢 琴美



医療情報学部  
医療情報学科3年  
藤原 愛里



医療情報学部  
医療情報学科3年  
兼頭 佑季

学長の目標にしている人物

山浦「これから第3回、学長に何でも聞いちゃおう!を始めます。ちょうどお昼の時間なので、昼食を食べながらゆったりと進めましょう。最初に質問したい方はいますか？」

兼頭「目標にしている人物は誰ですか？」  
学長「若い時はアメリカの第35代大統領、ケネディだね。」

全員「お————!!」

学長「勇気のある人は凄いですね。やっぱり、理想を掲げてそれに向かって行くことは勇気がないとできない。最近は、若い時ほどは思わなくなったけど、そういう意味では政治家は凄いです。他にもイギリスの前首相だね。イラク戦争の時に就任していた人だけどもみんな言えるかな？」

藤原「顔はすぐ出てくるけど…」

中道「皇太子なら…(笑)」

学長「(スマホで検索しながら…)トニー・ブレアだね。彼は実際に戦場に



行って兵士を激励しているんだ。銃撃戦が行われている場所に命掛けて行ける勇気は凄い。今の政治家だったらドイツの首相であるメルケルかな。難民問題に取り組む彼女は人気があるよね。では、日本の歴史を振り返ったらどうか。私は田中角栄。日本のビジョンをしっかりと示して突き進んでいたよね。みんなの場合はどうかな？」

諸岡「僕はキューバの革命家、チェ・ゲバラが大好きですね。」

藤原「私はウルグアイの元大統領、ホセ・ムヒカさんです。世界一貧しい大統領と呼ばれていて、住む家や給料も一般市民と変わらなく、それ以上のお金は寄付をしている人なんです。そんな彼のスピーチは凄く印象的でした。」

全員「へえ————!!」

中道「どこで知ったの？」

藤原「ニュースや絵本、スピーチなどです。すごくかっこいい方なんですよ。」

学長「みんな、それぞれしっかりと考え方を持っているんだね。」

好きな写真家

山浦「では、次に質問ある方ー？」

諸岡「私は写真を撮ることが好きなので

すが、学長は写真家で好きな人はいますか？」

学長「私は戦場に行って現場写真を撮って来る、いわゆる報道記者のような人が好きかな。命懸けで撮った写真は何か伝わってくるものがある。」

全員「確かに!」

学長「言葉が通じなくてもいい物は感動する。そう言った意味から写真は人生に残っていく物だから大切だね。」

諸岡「写真にはロマンがありますよね。」

多様性が必要な時代

学長「みんなは、“203高地”って知っているかな？」

諸岡「知ってます!」

他「知らないです……。」

学長「素晴らしいね。最近この言葉を知ってる人は少ないから。実は今年の12月に中国の大連という場所に行ってきたんだ。そこにソフトウェアの会社が作った大学で、北海道情報大学と同じような大学がある。その大学の近くに203高地がある。日露戦争に関係している場所で日本を知りたいなら、是非行って見て欲しい。中国といえば“万里の長城”などが有名だけど、そう言った場所以外にも

歴史を知る上では大切だよ。特に大連の人はすごく歓迎してくれるんだ。」

全員「凄く行ってみたい!!」

学長「そういった意味でも、うちの大学に中国やタイの学生を留学生として受け入れるということは、風土や文化が違って多様性が生まれるんだ。人が成長して行く上でとても魅力的なものだと、私は思うよ。国際交流は時間がかかるけど、そういった意味があるんだ。」

全員「深い!!」

—♪ チャイム ♪—

ここで諸岡・山沢退室

## 教育は時間のかかるもの

山浦「お二人ともお疲れ様です!!では、残ったメンバーで質問のある人はいますか?」

中道「うちの大学のどの教室にも大きく貼ってある“学生として守るべき11カ条”について、教育の観点から見ると語尾の『～しましょう。』所謂“Let”は良く、『～はだめ、しない。』の様な“Don't”（否定形）は好ましくない。と思うのですがそのことについて、お聞かせ下さい。」

学長「言い方の問題については、やってはいけないことははっきり言わなければいけない。私はそう考えている。学生のうちから教えてあげることが、社会に出てからに繋がる。教える立場がしっかりと“なぜか”の理由を教えてあげるべきなんだ。学生も、人によってそれぞれ考え方は違う。だから納得ができるまで時間がかかる人もいる。教育は時間がかかるものなんだ。主体性を持ってもらうためにもこの言い方にこだわって11カ条を作ったんだよ。」

## 迷った時は…

学長「例えば、AとBの選択肢があったらその判断基準は何?」

中道「自分は迷ってる時間は勿体ないのでとりあえず前に進みます!」

全員「かっこいい!!」

学長「確かにそれもあるね。だけど、どうしても選ばなくてはいけない場面に遭遇したらどうするか。それは“自分にとって厳しい方を選択すること”人はどうしても易しい方に流れてしまうからね。」

全員「なるほど——。」

学長「私は常に自分に言い聞かせているよ。今の自分は学長として、やるべき事をやっているのか?とね。」

中道「一生の課題ですよ。目先のことでAでも、本質的なことではBを選ぶべき時もあると思います。」

学長「私は学生に、そういう考え方で生きてほしいと願っているよ。」

全員「はい!」

## 学長の考えるリーダーとは?

中道「学長にとってリーダーとは?」

学長「ビジョンを示すこと。目標を持つことだね。自分一人でやるのではなく、組織的にやっていくことが大切。うちの大学では“HIU Vision 2020”というものを立



ち上げてこれからの北海道情報大学について考える取り組みを行っているんだ。」

全員「参考になります。」

## 学部・学科を超えての交流へ

山浦「今回、各学科の学生を集め学長との座談会を行うことでたくさんの発見がありました。」

藤原「他学科がどういった活動を行っているか、考えているかが今までは知らなかったので大変良かった。」

兼頭「定期的にこういった場を作っていければいいですね。」

中道「もっと学部の壁を越えてやり取りができていけば、活動の幅が広がると思いました。」

学長「色々な意見が出てきてとても良いと思う。今後はこういった学部間の交流を定期的にできるといいね。」

など沢山感想が出てくる座談会でした。

学長、みなさん、お疲れさまでした。

〈山浦征人〉



to be continue.?

# 北海道情報大学大学院 経営情報学研究科 経営情報学専攻 (修士課程) 学生の学会発表について

計測自動制御学会 システム・情報部門 学術講演会 2015 (於：函館アリーナ)

11月18日

史 興

修士課程 2年

情報処理プログラム

「シミュレーションを使用した複雑ネットワーク上自己回避ランダムウォークの振る舞いの考察」

小倉 史帆 大学院研究生

「ラダーネットワークにおいてプライスのパラドックスが起こらないパターン」

## GS シミュレーションを使用した複雑ネットワーク上自己回避ランダムウォークの振る舞いの考察

○史興 豊田規人(北海道情報大学)

**概要**  
1960年代に行われたMigramの実験<sup>1)</sup>は、1人の目標人物に対し、ランダムに選ばれた参加者が特定の手段で手段を伝える際、何人を経由したかを調査するものだった。実験の結果実際のランダムネットワークがスモールワールドネットワークである可能性を示したが、実験で得られた有効データの数が非常に少なく、様々な特性について疑問が残った。この研究では、Migram実験の振る舞いの自己回避ランダムウォークと一致すると思われるので、2つの異なる複雑ネットワークモデル<sup>2)</sup>において、Migram実験のコピュータシミュレーションを行う。ネットワークのサイズと平均次数、各ステップの伝送率、および2つの複雑ネットワークモデルの独自のパラメータを変更しながらシミュレーションを行い、その結果について考察する。

**Migramの実験の詳細<sup>1)</sup>**  
① 封筒に宛先の名簿に自分の名前を記入し、既に経由した参加者に手紙が送られることを避ける。  
② 送付したポストカードを複数枚出し、必要事項を記入の上、Migramに郵送し、手紙の送達を促す。  
③ 目標人物とは連絡の取り合いがあれば、その人に手紙を出す。  
④ そうでなければ、自分の連絡の取り合いの中から最も目標を知り合いとする人物を1人選び、その人に手紙を出す。

**実験結果**  
・ 最初の送達者と目標人物の間で手紙を中継した人物の数は平均5~6人  
・ 目標人物まで届いた手紙の割合は 64 / 296 ≒ 22%  
・ 参加者が放棄せずに手紙を次の人へ伝送する平均確率が約32%

**Migramの実験とランダムウォーク**  
ランダムウォークとは、伝達の行き先を完全にランダムに決定する伝達モデルである。Migramの実験での経路選択は個人それぞれの経験、知識に大きく影響される可能性が高く、選択の基準がランダムに変化する。伝達の状態は一種のランダムウォークと考える。  
ランダムに選ばれた伝達者(経路を選択する)に自己回避ランダムウォーク(SAW)と類似した動きを模倣する。Migramの実験の場合、選ばれた伝達者は二度と戻らないため、伝達は 節節自己回避ランダムウォーク<sup>3)</sup>(動的成長モデル、kinetically grown SAW)となる。

**シミュレーション**  
Migramの実験では、サイズ  $n = 2 \times 10^4$ 、平均次数  $\langle k \rangle = 150^{1/2}$  だとすれば、 $\log_{10}(2 \times 10^4) \approx \log_{10}(10^5) = 3.81$  が成立すると考えられる。そこで、シミュレーションは、1つのノードに対して、その近隣に隣接するノードをランダムに選ぶ。下方向の近隣  $\log_{10}(n) = 3.81$  に最も近いノードを選ぶ。

① Watts-Strogatzモデル<sup>4)</sup>  
・ 経路の長さ平均0.01から1まで1000/100倍ごとに設定し、21通りのモデルシミュレーションを行う。  
・ 目標ランダムに1つ決定する。  
② Holme-Kimモデル<sup>5)</sup>  
・ 経路を短くする際の経路選択率を0から1まで0.05ごとに設定し、21通りのモデルシミュレーションを行う。  
・ 最小最大の次数を持つ頂点の中からランダムに1つを選び、目標とする。なお、Migram実験における、手紙の中継を放棄する行動を考慮するため、中継を放棄せずに伝送する確率を伝送率  $\tau$  (0, 1) と変更する。  
**シミュレーション手順**  
・ Migram実験のルールに従い、シミュレーションを行う。送達者は金メダルからランダムに決定する。  
・ ステップ毎に設定した伝送率に基づき、次に伝送するか否かを決定する。  
・ 伝送せずに放棄した場合は伝送放棄、選べる経路先がない場合は伝送失敗、目標に届いた場合は伝送成功と記録し、伝送を終わらせる。  
・ 伝送が終わるまで、無敵な自己回避ランダムウォークに倣って伝送を行う。  
・ 目標の送達率を100回繰り返し、それぞれの目標に対し、送達者の選別も100回繰り返す。それぞれ10,000回の平均を結果とする。

**参考文献**  
1) S. Thompson, A. Migram: An Experiment Study of Small-World Networks, Science, 28 No. 4, 452-454 (1960)  
2) S. J. Kim, S. W. Kim, Computer Simulation of Small-World Networks, Science, 28 No. 4, 454-456 (1960)  
3) S. J. Kim, S. W. Kim, Computer Simulation of Small-World Networks, Science, 28 No. 4, 454-456 (1960)  
4) S. J. Kim, S. W. Kim, Computer Simulation of Small-World Networks, Science, 28 No. 4, 454-456 (1960)  
5) S. J. Kim, S. W. Kim, Computer Simulation of Small-World Networks, Science, 28 No. 4, 454-456 (1960)

## GS10-2 ラダーネットワークにおいてプライスのパラドックスが起こらないパターン

北海道情報大学 小倉史帆 豊田規人

・ はじめに  
本研究では片方向のラダー型ネットワークについて12種類のモデルを作り、プライスのパラドックスが起きるかどうかが観察し、パラドックスが起こり得る領域と起こらない領域を分類した。パラドックスが起こらない領域に着目すると、パラドックスが起こらない領域には、双方向モデルと同じ、あるいは異なる構造のパターンが出現することがわかった。

・ **プライスのパラドックス**  
SからTへ行くときを通過する道とWを通過する道があるとする。VからWへの新たな道を加えると、全体の流量は今までと同じでも、場合によっては新たな経路が追加されることにより、コストが増大することがあるというパラドックス。  
・ **バイパスのコスト3種**  
(a)モデル 確率Pで流量x, 1-Pで0  
(b)モデル 確率Pで流量x, 1-Pで1  
(c)モデル 確率Pで流量x, 1-Pでc  
・ 下から上へ向かうバイパスの割合をmとする  
・ 12種類のモデルでナッシュフローを計算し、プライスのパダドックスが起こり得るかどうかを考察  
・ **シミュレーションの結果**(a)モデル  
・ (b), (c)モデルでは片方向、双方向の両モデルが同じ結果となった。これらのモデルではバイパスのコストが起り得る領域が広がった。この結果は(a)モデルの結果のみを示す。  
\* はバイパスのコストが起り得る領域

・ **シミュレーションモデルの構築**  
ラダーネットワークのシミュレーション実験で、コスト関数において、12種類のモデルを構築  
・ バイパス数N=100  
・ バイパスの向きは片方向



・  $\forall 0 \leq S \leq 1$ 、各辺を通過する流量の割合  
・  $\forall 0 \leq S \leq 1$ 、上辺と下辺のコスト  
・ **上辺と下辺のコスト4種**  
・ **T-dualモデル**  
・ 最初と最後の边上、下辺のコスト関数は、 $c, x$ と $c$   
・ 上辺のコスト関数は確率Pでc, 確率1-Pで0  
・ 下辺のコスト関数は確率Pでc, 確率1-Pで流量x  
・ **S-dualモデル**  
・ 上辺と下辺のコスト関数は、上辺は確率Pでc, 確率1-Pで0  
・ 下辺のコストは確率Pでc, 確率1-Pで0  
・ **T-symモデル**  
・ 最初と最後の上辺、下辺のコスト関数は、 $c, x$ と $c$   
・ その他のコスト関数は、上辺、下辺ともに確率Pでc, 確率1-Pで0  
・ **P-symモデル**  
・ 上辺と下辺のコスト関数は、ともに確率Pでc, 確率1-Pで0

・ **まとめ**  
両方向バイパス、片方向バイパスを持つ2つのモデルにおいて、パダドックスが起こり得ない場合にはどのような振る舞いしているかを考察した。その結果、どちらのバイパスモデルでも、パダドックスが起こらない場合にはネットワークの中に同じ構造パターンが出現することがわかった。  
今後の課題として、スモールワールドネットワークでのプライスのパダドックスの考察が挙げられる。





# 平成 27 年度 学位記授与式 举行

平成 28 年 3 月 18 日（金）午前 10 時から午前 11 時 30 分、本学松尾記念館講堂において、平成 27 年度北海道情報大学学位記授与式を举行了ました。

経営情報学部は第 24 回、情報メディア学部は第 12 回、通信教育部は第 19 回、大学院は第 19 回となりました。

合同で行われた学位記授与式の模様は、会場に設置されたテレビカメラ 4 台により、全国の各教育センターにも同時中継されました。

式は、厳粛なうちにも和やかな雰囲気の中行われ、特に賞状授与では、参加者全員が拍手をするなど、祝福ムードいっぱいに包まれていました。

式終了後には、卒業アルバムに掲載する卒業記念写真の撮影を行い、その後、学科等別の学位記授与、体育館での卒業祝賀会と続きました。

学位記を手にした卒業生・修了生たちは、大学との別れを惜しんでいました。

## ●卒業生

・経営情報学部	
先端経営学科	55 名
システム情報学科	73 名
医療情報学科	46 名
・情報メディア学部	
情報メディア学科	128 名
・経営情報学部 通信教育部	
経営学科・経営ネットワーク学科	38 名
情報学科・システム情報学科	265 名

## ●修了生

・経営情報学研究科	4 名
	(総務課)



— — — — — 式 次 第

修 礼 開 式 の 辞

学 位 記 授 与 学 長 告 辞

理 事 長 祝 辞

祝 辞 ・ 祝 電 披 露

賞 状 授 与

卒 業 生 ・ 修 了 生 答 辞

閉 式 の 辞

修 礼

## 各学科の学位記授与式

講堂での全体学位記授与式、優秀学生表彰式のあと、学科ごとに分かれて卒業生全員に学位記と記念品が渡されました。

講堂とは違い、楽しい雰囲気での授与式です。学位記は担当の先生から手渡されるとあってリラックスした雰囲気でした。また、同じ教室内に保護者の方々も同席され、記念写真を撮ったり、学位記を見せ合ったりしていました。



## 卒業祝賀会

卒業祝賀会は、午後1時30分から午後3時、本学体育館において行われ、司会は在学生の渡邊純平さん（情報メディア学科齋藤一ゼミ3年）が務め、澤井副学長の乾杯で開始。軽音楽部の演奏などがあり、楽しい中でも、学生同士や教職員が最後のお別れなどの思い出に残る一時を楽しんでいました。

また、恒例になった屋台が盛況で、今年は屋台の数を倍増し、中でも人気となった焼きそばやシューマイ、肉料理は、長蛇の列ができ、用意された分が開始1時間を待たず売り切れとなるなど、大盛況でした。

学位記を手にした卒業生・修了生たちは、大学との最後の別れを惜んでいました。  
(総務課)



# 北海道情報大学 大学説明会を東京で開催

平成28年2月22日（月）中野サンプラザ（東京）において「北海道情報大学 大学説明会」を開催しました。

今回は20回目の節目となる開催となり、参加者数も261社、381名と過去最高の賑わいとなりました。

本説明会の開催目的ですが、景況感が多少良くなっているとはいえ厳選採用が続く中、首都圏の企業等に対し、本学が目指している教育研究の方向性やその内容を理解していただき、学生の就職に結びつけていくことにあります。

当日は、まず松尾理事長の挨拶で始まりました。この中で、本学が情報の総合大学として、文部科学省の「主体的な学びの事業」推進のためiPadを学生全員に無償貸与していることや、「食と健康と情報」として取り組んだ機能性食品の臨床試験であるヒト介入試験が、この度「第5回地域産業支援プログラム表彰」で文部科学大臣賞を受賞したことが紹介されました。また、

昨年12月に金星探査機あかつきが金星周回軌道の投入に成功しましたが、本学の宇宙情報システムコースの教授が開発時から携わってきたこと、そしてその宇宙情報システムコースの1期生がいよいよ就職活動を開始するというお話もありました。

続いて、富士学長が挨拶し、教育イノベーション（FD）の推進、倫理教育の実践、また「トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム」に本学学生が採択されたことなどを紹介しました。

学生の研究発表では、先端経営学科4年田中佑奈さんが「主体的学び一日経STOCKリーグ参加から得たもの」について、情報メディア学科4年三浦愛さんが「3Dアクションパズルゲームの開発」について素晴らしい成果発表がありました。その後、大学関係者紹介に続いて、卒業生代表挨拶があり、システム情報学科4年大石城司君と北九州教育センター システム



情報学科4年 飯田翔太君の力強い挨拶に、多くの参加者が感銘を受けていました。こうして大学説明会は成功裏に終了しました。

恒例の特別講演では、宇宙航空研究開発機構（JAXA）遠藤守副理事長様から「我が国の宇宙開発利用ー最近の話題と今後の展望ー」と題してご講演いただきました。このとり5号機、油井宇宙飛行士の活躍、はやぶさ2号機や我が国初の商業通信衛星打上げ（H-IIAロケットの高度化）、そしてあかつきの再チャレンジなど最近の話題についてお話いただきました。わかりやすい説明で、出席者も宇宙への興味がより一層高まったことと思います。

その後の懇親会は、若松教授（就職部長）の挨拶の後、出席企業を代表してJR東日本情報システム 塩田常務取締役様の乾杯のご発声により宴が始まりました。そして、出席企業の皆様と大学関係者や全国の教育センター長が、就職した学生の活躍ぶりや、3月から本格化する次年度の採用等についてお互いに情報交換しました。各企業の方々からは、積極的に採用していきたい等の声が多く聞かれました。最後に、澤井副学長の締めの挨拶で懇親会はお開きとなりました。



大学説明会の様子



## 3年生の就職活動がスタートしました!

3月1日から3年生の就職活動が本格的にスタートしました。今年の就職活動は、会社説明会の解禁が昨年と同じ3月、面接などの選考解禁は2か月早い6月に前倒しされます。

3月からは、説明会に参加しつつ、履歴書やエントリーシートの作成、筆記試験の受験など並行して取り組まなければなりません。さらに新学期が始



まれば講義もあり、ますます忙しくなるでしょう。そのため、計画的かつ効率的に活動することが重要となります。

本学においては、昨年の5月から各種就職ガイダンスを実施してきました。自己分析のポイントや業界研究の進め方など就職活動のノウハウの指導から、筆記試験や面接試験の本番を想定した実践的な対策まで、段階的に行ってきました。また2月には本学内で、業界や仕事に対する理解を深めることを目的に「業界セミナー」や「OB・OG交流会」を開催しました。学生の皆さんは、スーツを着て多くの社会人と接する中で、就職活動本番が差し迫っていると感じたのではないで

しょうか。

就職活動は初めてのことばかりで、戸惑うことも多いでしょう。本番が始まると、落ち込むことや周囲と比べて不安になることもあるかもしれません。それは自らの将来について、真摯に向き合うからこそだと思います。ですが、就活でぶつかる様々な試練を乗り越えた先には、大きな成長が待っています。

不安や悩みは一人ひとり違います。困ったときには、いつでも学生サポートセンターに来てください。些細なことでも遠慮はいりません。学生の皆さんが納得のいく就職活動ができるよう、万全のサポート体制でバックアップします。

## 「OB・OG交流会」開催

平成28年2月8日(月)、本学eDCタワーカフェレストランにて「OB・OG交流会」を開催しました。この交流会は、就職活動解禁日(3月1日)を間近に控えた3年生に良いスタートを切ってもらえるよう、社会人と接する機会を増やすとともに就職活動に対する相談、そして社会で活躍する卒業生に激励をしていただこうと昨年度から始めたものです。

今回は本学1期生の大先輩から社会人1年目の新入社員まで、IT企業、流通、広告、商社、医療機関、外資系企業など道内外の様々な分野で活躍する20社26名の個性豊かな卒業生をお招きしました。

昨年度よりも時期を早めて実施したので、就職活動解禁日に向けての

気持ちが出来上がっていないのではと少し不安な気持ちでございましたが、昨年度の約1.5倍の150名近い学生が参加してくれました。

初開催の昨年度は採用ご担当者様にもお越しいただきましたが、今回お招きするのは卒業生に限定し、「会社説明会では聞きにくいことも聞いてみよう!」と学生に周知しておりましたので、「面接で社長を攻略するにはどうしたら良いですか?」「住宅手当の金額ってどうやって決まりますか?」「休みの日は何をしていますか?」など前回よりも随分踏み込んだ質問が聞こえてきていました。失礼な質問をしたのではないかと少し心配をしています。交流会全体を通して印象的だったのは、たくさんの笑顔が見られたことで

す。学生・卒業生にとって良い出会いの場であったのではないのでしょうか。

交流会の締めとしまして、同窓会会長の木村篤詩様から「挨拶の大切さ」など学生への激励のお言葉を頂戴し、交流会は無事に終了いたしました。

本交流会開催に際し、卒業生の皆様をはじめ、株式会社マイナビ、北海道情報大学同窓会、そしてお忙しい中卒業生を参加させていただいた企業の皆様には多大なご協力を賜りました。この場をお借りしまして、深く感謝申し上げます。



(学生サポートセンター事務局 瀧澤就職課長代理)



10月17・18日に PASEO25 周年記念「学生たちによるプロジェクションマッピング」が開催され、本学情報メディア学部の学生4チームが参加しました。

このイベントは JR 札幌駅 PASEO が主催となり、北翔大学、そして本学との合同企画です。北翔大学 2 作品、本学 4 作品が、2 日間で 8 回上映されました。作品は「テルミヌスの森」をテーマにその幻想的な雰囲気表現するというものでした。毎回の満員御礼の中、各チームの代表者が作品説明も行いました。情報メディア学部の作品の質の高さに皆さん驚いていました。



### 本学参加チーム

※全て情報メディア学科生

#### チーム マキマキカルテット

テルミヌスとは、ローマ神話における境界の標識の神。地域の境界に立てた標石や標柱を神格化した存在であるため、彫刻の境目や壁とオブジェクトの空間を意識し、現代と自然を組み合わせた、神秘的な世界を表現しました。

<映像>

4年 久保 史明  
4年 牧野 圭恭  
4年 入倉 竜吾  
3年 岡田 雄世

<音楽>

3年 櫛引 康平

#### チーム ペペレ

山奥に暮らす白くまが想いを寄せる女の子とデートに出かけるというストーリーです。コミカルな白くまの動きや表情、3DCG によるリアルな建物にご注目ください。衝撃のラストにも乞うご期待。

<映像>

3年 澤田 裕真  
3年 半澤 浩平  
3年 種市 滉平  
3年 早瀬 仁哉

<音楽>

3年 櫛引 康平

#### チーム パセリ

「札幌の四季」をイメージした作品を制作しました。凧や雪などの自然現象、札幌の季節イベントを意識し、季節の移り変わりを表現しました。四季折々の何気ない楽しさを感じて頂けたら嬉しいです。

<映像>

3年 須藤 真之介  
3年 成澤 良太  
3年 杉村 直哉  
3年 若松 真央

<音楽>

3年 櫛引 康平

#### チーム EDM ULTRA

近未来と楽しい雰囲気、音の波長や、ゲームっぽい雰囲気をイメージしました。そして、札幌の近未来を想像して、制作しました。映像とともに音楽も楽しんでいただけたら嬉しいです。

<映像・音楽>

4年 末永 沙紀

映像作品は、YouTube 北海道情報大学チャンネルでご覧になれます。  
「北海道情報大学チャンネル」で検索



日時  
10月17日(土)、18日(日)  
各日12:00~、14:00~、16:00~、18:00~

場所  
JRタワーPASEO センターB1F  
テルミヌス広場

協力  
北海道情報大学 メディア・クリエイティブ・センター  
安田研究室 大島研究室 向田研究室

# EBETSU

## ＜地域連携＞ 江別市公式の CM を制作

### 江別をもっとPRしたい！ 安田研究室と映像研究部で江別の魅力を詰め込んだ江別市公式CM を制作

江別市の公式サイト「えべつのじかん」にて、情報メディア学科安田研究室と映像研究部で制作した「江別 15秒 CM」が、3 作品公開されました。

江別の魅力を 15 秒にギュッと詰め込んだ CM。再生回数も順調に伸びています。今年度中にあと3本追加され、来年度も6本追加される予定です。

このプロジェクトは、情報メディア学科の地域と連携する取り組みの一つです。

江別 15 秒 CM は、「えべつのじかん」  
サイトでご覧になれます。

→「えべつのじかん」で検索

<http://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/site/welcome/>



① 15 秒 × 2CM 「水道水編」



② 15 秒 × 2CM 「交通編」



③ 15 秒 CM 「ふるさと納税編」

### ① 水道水編

あらすじ

バスケットをしている男子学生。運動後にマネージャーがミネラルウォーターを渡しに来る。しかし男子学生はマネージャーに、「江別の水道水を飲んだほうが良い」と言う。果たしてその理由とは！！

キャスト：鎌田孝介、上野園佳  
(ともに情報メディア学科3年)

### ② 交通編

あらすじ

札幌から江別まで電車で約 13 分～20 分！近い！しかも江別市内の駅に一日 8 5 本電車が停まる！多い！そんな交通の便が良い江別市に住んでみませんか？

### ③ ふるさと納税編

あらすじ

江別市ってどんなまち？食べ物もおいしい。レンガでも有名。江別には魅力がいっぱい。そんな江別にふるさと納税しませんか？

ディレクター：須藤真之介（情報メディア学科3年）

企画：須藤真之介、杉村直哉、成澤良太、葛西明莉（すべて情報メディア学科3年）

協力：北海道情報大学映像研究部  
統括プロデューサー：

江別市広報広聴課 大川直久  
情報メディア学科 安田光孝

## 「日中文化交流サロン」に参加して

外国人留学生委員会 経営情報学部教授

玉置重俊



昨年の11月14日（土）、午後1時30分から4時の間に、野幌公会堂において、「江別日中友好の会」が主催する「日中文化交流サロン」が開かれ、本学の16名の中国人留学生も参加して、江別市民の方々と大変楽しく、相互交流と親睦を深めることができました。したがって、当日における具体的な活動状況を学内の皆様に、いささか紹介してみたい。

「江別日中友好の会」は、20年以上

前から、中国の大学や中国人などに、多大な支援と援助を行いながら、また日中友好の文化交流や相互親睦なども促進させてきた民間組織であって、その方々は、やはり本学の留学生にも大きな関心を持たれ、江別市民と中国人留学生との交流及び親睦を一段と深めるために、6年ほど前より、「日中文化交流サロン」というイベントを企画して下さっている。

さて、今回の状況だが、交流会の司

会は、毎年中国語の実力をめきめき上げている松本景子理事がご担当なされて、流暢な分かりやすい中国語で、参加者を温かく迎えて下さった。その後、「江別日中友好の会」の望月芳明会長がご挨拶を述べられ、いよいよ交流会は始まった。

最初の項目は、「えべつ手話の会」の12名の女性の皆様が、ホワイトボードに歌詞の張り紙を用意して、日本の歌や童謡などを実際に手話を交えて、

本学の留学生のために、何曲か披露して下さった。特に、日本語の歌詞や言葉も、手話による表現での具体的な説明を適宜に入れて下さったので、手話の知識がない参加者にも、いくつかの手話の動作は、概ね理解することができた。また「えべつ手話の会」の皆様は、ある歌を発表するときには、その歌がイメージできる衣装やメイキャップを様々に準備していて、実に楽しいパフォーマンスを熱心に演出なされていた。

本学の留学生たちも、それぞれ目を丸くして、それらを愉快地に見物していたのだが、何と途中から、「えべつ手話の会」の方から、突然に彼らにも短い色物のスカートが配られて、それを身に付けて、一緒に踊るように要請されてしまった。したがって、6・7名の留学生は戸惑いながらも、全体の踊りの中に加わって、周りを見ながら、しっかりと奮闘努力しなければならなくなかった。その時点では、会場全体がとにかく笑いの渦に巻き込まれて、観

客たちも留学生たちの即興で優れたパフォーマンスを大いに楽しんでおられた。本当に、本学の留学生の臨機応変な才能や適応力が何とも素晴らしかったので、筆者もとても感激し、久しぶりに大きな声を上げて、彼らを応援したほどであった。

次の項目では、本学の留学生がようやく登場し、先ず3名の留学生（胡照臨君、陳華樺さん、王維成君）が、江別市民の方々に、流暢で正確な日本語を用いて、日本あるいは江別での留学生活について、簡単なスピーチを行ってくれた。その後は、参加している他の留学生たちも、各自の自己紹介を日本語で順番に話して、全員が何とか草の根の交流に貢献することもできた。また、元気で明るい王維成君は、一人で椅子に腰掛けて、堂々と中国の歌を中国語で歌って、多くの観客を魅了していた。彼のパフォーマンスが終わった後には、市民の方から、いろんな質問が出されたが、彼はそれらにも、笑顔で一つずつ丁寧に答えていた。

最後の項目では、留学生も何人が協力して、興奮するビンゴゲーム大会を行い、参加者全員がそれぞれ心の籠もった、ありがたい景品を手に入れた。会場の各テーブルには、お菓子や飲み物、そして綺麗なショートケーキなども豊富に用意されていて、さすがに親睦会の良い雰囲気は整っていた。留学生たちも、短い一時ではあったが、江別市民の方々とささやかな交流と温かい親睦を交わすことができて、やはり忘れられない日になったことであろう。

この交流会は、もちろん「江別日中友好の会」の皆様を支えられて開催されており、特に後藤一昭様、岩館明美様には、事前に多大なご奉仕を頂きましたことに、心から厚く感謝申し上げます。まさに、「日中文化交流サロン」は、江別での手作りの交流会ではありますが、これが日中友好の新たな礎となり、益々発展してゆけるならば、将来の庶民レベルでの日中関係は、極めて明るくなると確信致しております。



# 第8回北海道情報大学図書館賞



2015(平成27)年12月18日(金)、  
本学eDCタワー4階の図書館ラーニ  
ング・commonsにおいて、「第8回北海  
道情報大学図書館賞」の表彰式が行  
われました。この賞は学生の読書力及び  
表現力の向上を目的として、2008(平  
成20)年から実施しているものです。

第1部門(読書感想文)では、早瀬  
仁哉さん(情報メディア学科3年)の  
『『白ゆき姫殺人事件』から学ぶこと』  
が、優秀賞に選ばれました。ある“事件”  
をめぐる人間模様を自らを重ね合わ  
せ、人としての生き方や在り方を真剣  
に模索するという、まさに図書館賞に  
ふさわしい優れた内容でした。

第2部門(小論文)では、残念ながら  
今回は応募がありませんでした。小論  
文という形式には馴染みのない学生も  
多いかも知れませんが、学年が上がる



につれ、あるいは社会に出てから役立  
つのはこのような文章力や構成力で  
す。在学中は何度でも応募できますの  
で、練習だと思って一度挑戦してみ  
るのはいかがでしょうか。

内容は充実していたものの、今年度

の図書館賞は例年に比べ、応募数が少  
ないという結果になりました。来年度  
は、もっと多くの学生が応募してく  
れるような図書館賞にしたいと思います  
ので、よろしくお願いします。

(図書館事務室)

# 『白ゆき姫殺人事件』から学ぶこと

情報メディア学部 情報メディア学科

1323113 早瀬 仁哉



し真実を捻じ曲げてしまった話というのは、私がアルバイト先で些細なトラブルに巻き込まれたときの話だ。私はそのときのことを次のように友人に伝えた。

「そのトラブルのあった日、私はアルバイト先の厨房で業務に取り組んでいたのだが、酔っ払った男性が突然怒鳴りながら厨房に入ってきて、私の胸倉を掴み、少し強めに突き飛ばしてきた。もしかしたら厨房に侵入してきた男性は、大声でスタッフを呼んでいるのに誰も来ず、厨房を覗いてみるとスタッフが呑気に作業していて、それが彼にとって気に食わなかったのかもしれない。」

上の文章を読んでみて、どのように感じただろうか。きっと、男性の方に完全な非があるように感じたのではないだろうか。しかし、本当は自分に都合の悪いところは話していないだけで私にも非がある話だったのだ。実はこの男性を私は以前より良く思っていなかった。この男性は、時々来店しては過度な飲酒を仲間に強要したり、お店の備品を破壊したり、かなり問題がある方だった。そのため、対応中の私の表情を見ていたスタッフによると、自覚は無かったが、鬼のような形相で、怒鳴る男性を睨みつけながら対応していたそうだ。もしかしたら、それが胸倉を掴まれ、突き飛ばされる原因になったのかもしれないと今では思う。

『白ゆき姫殺人事件』の登場人物も、

湊かなえ『白ゆき姫殺人事件』(2012年)は、扉絵や作品名から、暗く重苦しい雰囲気醸し出している作品であるが、この作品からは、人間として立派に成長するために、とても大切なことを学んだように感じる。ミステリー小説というよりは、人間の本質に焦点を当てたような内容だった。

この作品は、美人OL猟奇殺人事件の容疑者の人物像をめぐり、フリーライターの赤星雄治という名の男が、犯人として最も疑わしい人物である城野美姫をターゲットにして、独自調査を行うというストーリーだ。赤星は、城野の関係者へのインタビューやSNSによる情報から、犯人を推測していく。最終的には彼女が殺人事件とは無関係であることが証明されるのだが、数々の無責任な「噂話」により、彼女はついに自分がわからなくなってしまうという姿が描かれていく。

この作品の特に優れた部分は、人間の行動や話す様子をとてもリアルに書き表しているところだ。インタビューを受ける関係者が、自己顕示欲丸出しで、あることないことを語って真実を捻じ曲げてしまうこと、そして赤星がそれをまとめ、容疑者を含める周辺人物の気持ちを微塵も考えずに、あたかもそれが真実であるかのような記事を書いてしまうあたりなど、「実際にこんな人がある」と思わず納得してしまうようなリアリティがある。

作中でインタビューを受けた人々が、意地悪で、わざと話の真実を捻じ曲げているというわけではないこともリアリティを感じさせる要因になっている。実際にあった話を、自分の都合の悪いところは隠して周りの人に話してしまうことは、現実でも日常的に行われていることだ。そのような経験は、私自身にも心当たりがある。その、少

まるで自分には完全に非がなく、城野美姫を犯人と決めつけその周りの人間までも悪く言うように話していた。そのような話し方では、真偽を確かめることが難しくなってしまう。さらに、情報を公表する赤星のような立場の人物ですら、容疑者が城野美姫であることを前提に記事を出していたのでは、真実を知るとはもはや不可能に近い。そのため、赤星から情報を受け取った大衆は、まんまとその情報を鵜呑みにし、真偽を確かめせず、城野が犯人であるとして考えてしまっていた。

さまざまな情報に触れていく結果、それが真実かどうかわからなくてもそう思い込んでしまい、それらに騙されてしまうことは日常的に起きてしまう。実際に、私でさえも読み始めのころは、赤星が聞きだした情報を真実だと思い込んでいたくらいだ。このように、情報が氾濫する中で真実を知るとはとても困難である。それでは、真実を知るためには、私たちは一体どうすれば良いのだろうか。

「美人OLを殺害したのは城野美姫だ。同期としても女性としても比較され、彼女には動機も疑わしい不振な行動も目撃されている。さらには小さい頃、呪いの力を持っていると言われるほど彼女は気味悪がられていたらしい」

本文をそのまま転載したわけではないが、赤星は容疑者が城野美姫だということを前提に、上のような文を記事として世間に発信している。

私は、城野美姫が疑われる一番の原因は、赤星にあると思う。赤星は、城野が犯人であるという前提に合わない情報を一切探さず場面がない。さらには自分から詳しく話を追求することも、真偽を確かめることもしない。城野が

犯人だということを前提にインタビューで聞いた話を鵜呑みにし、記事にまとめ、何のためらいもなく、週刊誌の記事やSNSで公表しているだけである。しかも、城野を擁護する人々に責められると、とっさに放棄し、逃げてしまうという行動からもわかるように全く責任感もない。この人物ではなく、真偽を迫及する努力を惜しまず、自分の考えをしっかりと持っているフリーライターが記事をまとめ、世間に公表していたならば、容疑者である城野美姫を見る周りの目も違ったものになっていたのではないかと思わずにはいられない。

自ら考え、行動し、触れなければ真実は見えにくい。赤星のような自主性や主体性を持たない人間がインタビューをしても、話し手は事件の疑わしき人物を、まるで極悪人のように話すことしかしないし、ほんの些細な出来事でも、赤星の手にかかれば、大衆に受けられるようにと、おもしろおかしく真実が捻じ曲げられてしまう。この場合、赤星だけは唯一良い気分になれるかもしれないが、話を誇張された側にとっては、自分の知らないところで違う自分が形成されていて、たまったものではない。そのような結果を引き起こした赤星は、なんて身勝手に、薄っぺらい人間なのだろうと思う。

赤星は無責任で、自分の利益のことしか頭に無く、流石に尊敬することはできない。しかし、反面教師として学ぶべきところがあると思った。赤星の問題点は、記事を書かれる側の人間の気持ちを考えないところ、人の話を鵜呑みにするところ、真実を追究しないところ、無責任な発言や行動をすることなど、挙げていくとキリが無いのだが、それらすべてを反対に実行し、

自分を人間としてもっと成長させたいと感じさせてくれた。

『白ゆき姫殺人事件』は、特にインターネットというメディアが重視されて描かれている作品だ。大学の講義でも、インターネット上の問題を知る機会はあったが、この作品をきっかけに、インターネットの情報の一面性の問題を再確認することができた。そして、書かれている情報、発信されている情報を知ることだけが重要なのではなく、その情報を受け取った後で自分の考えを持ち、判断し、行動することが真実を知ることにつながるということを確認することができた。さらに、情報リテラシーの面でも、情報を発信する側も受信する側にも両方に注意すべき点があることに気づいた。インターネット環境の充実とともに、いまや誰もが携帯電話やスマートフォンなどの情報端末から情報を発信できる時代になった。そのため、情報を発信する側はマスメディアが負ってきた発信者としての責任を等しく負わなければいけない。自分の発信する情報に責任を持ち、真偽を確認しなければならない。そして、情報を受け取る側も、発信されてきた情報を鵜呑みにせず、その情報が信頼できるかどうかを検討するだけでなく、さらにそこから一歩踏み込んでみて自分の考えを生み出し、情報の取捨選択をしなければならないという責任があるということだ。

私はこれからも、自分の発言や考え、責任感をもった行動など、身近な部分で実行できるところを意識していきたい。そして、城野美姫のように情報によって人生を狂わされてしまう人が生まれないう、北海道情報大学を卒業し、情報の専門家として、立派に成長していくことを決意した。



# この先生の裏の顔シリーズ

## 裏

## 第7回 穴田有一先生

先端経営学科

遊牧民か、海賊か、  
どんな先祖をもつのだろうか？

タリンからヘルシンキへ、バルト海を渡る船上で原稿を書いているこの男、どこへ行くにもラップトップは持ち歩きたい。船内は暖かく、居場所はいくらでもあるのに、真冬の寒風が吹き荒ぶデッキでラップトップをはたくのは、いったい何のつもりだろうか。時々、地球上のあちらこちらに現れるこの男、北アジアの遊牧民の血を引くに違いない。とにかく落ち着きがない。世界を歩き回るようになってから、最初は、白地図を広げて訪れた町に印をつけていたらしいが、30ヶ所を超えたころから、面倒になったせいか、やめたらしい。自室の壁には、中途半端な白地図が忘れ去られて寂しそうにしている。

あちこちに現れるのは、実は仕事がほとんどらしい。学会の発表のようだ。そんなわけだから、行先は、ヨーロッパやアメリカが主になるが、中南米、アジア諸国にも現れる。海外渡航に、趣味のクロスカントリースキー大会が加わったのは、10年ほど前かららしい。フランス、フィンランド、ポーランド、エストニア、アメリカ、カナダ、オーストラリアなどを転戦してきようだ。

しかし、何を好き好んで真冬の厳寒の地をうろつくのだろうか。カナダでも、エストニアでも、-20℃のなか凍えるようにして山中を登ったり下ったり。遠い国の山中で、時には、前後に他の競技者が見えなくなることがあり、コースアウトが気になることもあるだろう。フランス、ジュラの山中で、いつの間にかスイスに密入国したのはコース設定のせいで、自分の過失ではないと言い張っている。カナダ、ガティノーの大会では、樹氷の針葉樹が茂る山中でゴールを見失ったらしい。しかし、何とかなるものなのだろう。この男、実は方向音痴である。

地球で遊ぶのは、海外だけではないようだ。国内でも、海や山に出没するらしい。大雪山系のふもとにある忠別湖。8月とはいえ、こんなにも冷たい湖水の中を泳いでいる。ただし、トライアスロン大会なので、一人ではない。周りには、芋を洗うように400人が泳いでいる。トライアスロン用語でバトルというが、他の選手と水中でぶつかる。ぶつかるだけでなく、手が当たる、足が当たる、ときには乗っかってくる。

気がついたら、この男も他の選手に追突している。湖畔に並んでスタートを待つ緊張の時間は、選手同士たがいにエールを送るが、人間の浅ましさをだろうか、スタートした途端、水中ではバトルである。トライアスロンという競技、水泳は始まりに過ぎない。その後は自転車、さらに、その後はランニングである。増毛の海でスタートする大会では、群がるクラゲの中を泳いでいた。クロールで手が入水するとき、水ではなくクラゲをキャッチする感触は、どんなものなのだろうか。一度、聞いてみたいものだ。朝6時半からスタートし、夕方42kmのランニングで見るオロロンラインに沈む赤い夕日は、方向音痴の頭にも、きっと哲学的なインスピレーションを生むに違いない。体力の限界で走り続ける脳裏には、シーシュポスの無限の苦悩が浮かんでいるのかもしれない。とはいえ、いつの間にか、シーシュポスがサザンの軽快なミュージックに代わるのは、この男のいい加減なところかもしれない。あるいは、体力の限界をしのぐため、心理の一线を越えた自己防衛かもしれない。

悪天候でも行われるトライアスロン、こんな時に、とても一人で泳ぎ出そうとは思わない。なのに、400人が周りにいると、不思議と泳ぐ気になる。というよりは、400人の中にメルトして、泳ぐ気分になっちゃうのかもしれない。人間の心はわからないものだね。



# 平成27年度

## 北海道情報大学

### 公開講座

#### 終了報告

平成 27 年度北海道情報大学公開講座にご参加いただき、誠にありがとうございます。おかげをもちまして、全 26 講座にたくさんのご参加をいただき、無事終了することができましたことをご報告させていただきます。

今後も北海道情報大学の社会教育活動にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

- ・ 全26講座 32回実施
- ・ 総参加人数 311名



6月25日(木)  
「暗号の世界への招待～身の周りは暗号だらけ～」の様子



8月8日(土)  
「夏休み自由研究教室～ロボットで科学を学ぼう～」の様子

**No.1** ・【公開イベント】  
ミステリー×  
インターネット

- ・ 全1回 ・ 参加費無料
- ・ 参加人数 一般80名
- ・ 当日自由参加型  
参加人数は概算

**No.2** ・ 現代におけるコミュニケーションの問題性と  
その解決法  
～傾聴技法等を体験する～

- ・ 全1回 ・ 参加費1,000円
- ・ 参加人数 一般6名
- ・ 教員免許状更新講習との  
合同開催

**No.3** ・ ～動作確認しながら  
学べる～JavaScriptを用  
いた初級プログラミング～

- ・ 全1回 ・ 参加費3,000円
- ・ 参加人数 一般9名

**No.4** ・ 自分がわかる教育  
カウンセリング体験  
(基礎講座)

- ・ 全1回 ・ 参加費1,000円
- ・ 参加人数 一般5名
- ・ 教員免許状更新講習との  
合同開催

**No.5** ・ IT関連⑦ネットビジ  
ネスの現状を知ろう

- ・ 全2回 ・ 参加費1,000円
- ・ 参加人数 一般10名

**No.6** ・ 暗号の世界への招待  
～身の周りは暗号だらけ～

- ・ 全1回 ・ 参加費500円
- ・ 参加人数 一般10名

**No.7** ・ さらに自分がわかる  
教育カウンセリング体験  
(応用講座)

- ・ 全1回 ・ 参加費1,000円
- ・ 参加人数 一般2名
- ・ 教員免許状更新講習との  
合同開催

**No.8** ・ 日本ミステリーの  
たしなみ方  
～ミステリーを10倍楽しむ～

- ・ 全1回 ・ 参加費500円
- ・ 参加人数 一般7名

**No.9** ・ ヘルスリテラシー講座  
食による病気の予防～健康  
で長生きするためのヒント～

- ・ 全1回 ・ 参加費500円
- ・ 参加人数 一般28名

**No.10** ・ MS Officeを使いこなす  
(夏期)

- ・ 全1回 ・ 参加費3,000円
- ・ 参加人数 一般2名
- ・ 教員免許状更新講習との  
合同開催



8月8日(土)  
「夏休み自由研究教室こどもビデオ講座  
～監督になってオリジナル映像作品を作ろう!～」の様子

**No.11** ・夏休み自由研究教室  
こどもビデオ講座  
～監督になってオリジナル  
映像作品を作ろう！～

- ・全2回 ・参加費無料
- ・参加人数  
小学3年生～小学6年生5名

**No.16** ・MS Officeを  
使いこなす（秋期1）

- ・全1回 ・参加費3,000円
- ・参加人数 一般1名
- ・教員免許状更新講習との  
合同開催

**No.21** ・消費者行動論  
～変化する企業と消費者～

- ・全1回 ・参加費500円
- ・参加人数 一般7名

**No.12** ・夏休み自由研究教室  
～ロボットで科学を  
学ぼう～

- ・全1回 ・参加費無料
- ・参加人数  
小学校高学年とその保護者  
20名 親子9組

**No.17** ・食による認知症の  
予防は可能か  
～高齢化社会の命題～

- ・全1回 ・参加費500円
- ・参加人数 一般23名

**No.22** ・MS Officeを使いこなす  
（秋期2）

- ・全1回 ・参加費3,000円
- ・参加人数 一般1名
- ・教員免許状更新講習との  
合同開催

**No.13** ・情報を食べる～おいし  
さの秘訣は“情報”！？～

- ・全1回 ・参加費500円
- ・参加人数 一般13名

**No.18** ・画像検査の最前線  
～人のようにみる・人が  
見られないものをみる～

- ・全1回 ・参加500円
- ・参加人数 一般7名

**No.23** ・伝わるプレゼンテー  
ション～初級パワーポイント  
の使い方～

- ・全2回 ・参加3,000円
- ・参加人数 一般4名

**No.14** ・伊藤博文から  
スティーブ・ジョブズまで  
～心を打つスピーチを味わう～

- ・全2回 ・参加1,000円
- ・参加人数 一般5名

**No.19** ・健康情報学  
～その健康法、ホント  
に大丈夫？～

- ・全1回 ・参加費500円
- ・参加人数 一般22名

**No.24** ・方程式とその周辺

- ・全1回 ・参加費1,000円
- ・参加人数 一般0名
- ・教員免許状更新講習との  
合同開催

**No.15** ・IT閑話⑧ ネット社会  
の倫理と今後を読み解く

- ・全2回 ・参加費1,000円
- ・参加人数 一般8名

**No.20** ・集団・組織づくりに  
役立つ教育カウンセリング  
講座～SGE体験～

- ・全1回 ・参加費1,000円
- ・参加人数 一般6名
- ・教員免許状更新講習との  
合同開催

**No.25** ・金星探査機「あかつき」  
を応援しよう～2015年12月  
軌道投入再チャレンジ！～

- ・全1回 ・参加費500円
- ・参加人数 一般20名



10月20日（火）  
「食による認知症の予防は可能か～高齢化社会の命題～」の様子



11月10日（火）  
「伝わるプレゼンテーション～初級  
パワーポイントの使い方～」の様子

## 内山ゼミ

経営情報学部 システム情報学科

内山ゼミの研究テーマは、「情報システム設計とデータマイニング」のように2本立てになっています。前者は、効率の良い設計・開発、使い手と作り手にとって満足度の高い設計について探求することです。後者は、世の中に蓄積されている膨大なデータ(ビッグデータ)から人々に有益な情報を取り出す技術(データ解析技術)を研究することです。異なるテーマですが、私が企業研究者の時に経験してきたこと、面白いと思ったことです。

学生には、具体的に目に見えて動く「システムの例」や、見てわかる「データ解析例」を見せるように心がけています。例えば、ゴルフ場の膨大な書き込み(数十万件)を10個にクラスタリング(似た文書をまとめる)すると、「砲台グリーン」

についての書き込みが多数あり(クラスターを形成する)、ゴルフコースの好印象につながっていることがわかります。また、電子商店におけるオススメを決める仕組みの裏側も見せます。

いずれのテーマにおいても、「プログ

ラム」を使います。実際にプログラムを書いて、Webシステムを作って動かしたり、実際のデータを解析したりします。プログラムは、得意でなくても、是非興味を持ってもらいたいと思います。



## 高橋ゼミ

医療情報学部 医療情報学科

当ゼミは、「楽しく勉強する」の理想のもと、10人が明るく楽しく有意義なゼミ活動に臨んでいます。昨年度の大きな活動には、学外宿泊ゼミ(10人参加)や学会発表(延べ5人)、論文投稿(1報)等が

挙げられます。学外宿泊ゼミは、平成28年1月から



始まる「全国がん登録」制度に向けた学習を目的として、7月に市立函館病院でがん登録研修(写真)を受けました。5月から通常のゼミ時間内で3年生を中心に、がん登録に関する勉強会にて研修の事前準備をし、当日は、海老名春代先生からがん登録の初歩レベルの手ほどきを受けました。3時間の研修の間には、院内見学、ドクターヘリレポートで記念撮影(写真)のおまけ付でした。

また、学会発表は、4年生が9月に岡山市で開催された第41回日本診療情報管理学会の学生セッションで(2名)、12月には札幌で143回北海道診療情報管理研究会で(2名)140名ほどのベテラン診



療情報管理士を前に堂々と発表しました。さらに、2月には札幌で、日本医療情報学会第12回北海道支部学術研究会で(1名)発表し、プレゼンテーション能力アップを図りました。また、半年間の卒業研究を論文にまとめ、当大学紀要に投稿する(1報)こともゼミ活動の一環として実施しました。充実した大学生生活の締めくくりの場として、当ゼミを選んでいただけたら幸いです。

## 遠藤ゼミ

経営情報学部 先端経営学科

遠藤ゼミでは消費者行動研究やマーケティング・リサーチ(市場調査)の領域から、まちづくりと地域ブランドに関する調査・研究をしています。

毎年実施している大きなものとして、昨年は道東茅室町の中心市街地活性化の取り組みについての現地調査、一昨年は道南森町(駒ヶ岳・大沼)の地域ブランド向上のための実地調査を行いました。今年は道北豊富町の地域ブランドに関する調査に行く予定です。

学術的な側面を学習するだけでなく、実際に自治体が抱える問題や地域ブランド構築の障害、実社会の課題を学習することを目的としています。

これからの社会は少子高齢化にどのように対応していくのか、また東京、札



幌の一極集中から脱却し、地方がどのように自立していくのが重要な課題です。これは自治体のみならず、企業にとっても重要な課題といえるでしょう。少子高齢化時代の商品開発、北海道であれば観光産業やブランド化できる商品の発掘など、消費者の動向や変化を理解したり、それを調査したりすることは必須です。



某コンビニの商品開発や某メーカーのリサーチ部門などで活躍しているゼミOBがいることからそれを理解できるでしょう。

## 広奥ゼミ

情報メディア学部 情報メディア学科



広奥ゼミでは、コンピュータとのインタラクションを中心に、自由な発想で様々なもの(各種OS用アプリケーション、Webアプリケーションソフトウェア)を作っています。

3年生のうちに主にユーザインタフェースについてのインタラクティブ

ティについて学び、その後作成するものに反映してもらうようにしています。同時に、プレゼンテーションスキルを身につけられるように、ゼミ内での発表を頻繁に行います。

このところ、スマートフォン用アプリケーションの開発に興味がある学生が多いですが、作成されるアプリケーションのジャンルは様々です。また、ゲームを開発したいという学生も多く、いくつかの条件付きで認めています。

担当教員としては、ハードウェアにも

興味を持っているので、いろいろなガジェットを試してもらおうと水を向けるのですが、ゼミ生からはあまり良い反応が得られないのが残念です。

取り立てて特色のあるゼミではないのですが、強いて言えば、学生達が制作するものが多岐にわたっていること、ということになるでしょうか。それだけに、皆で一緒に取り組むということが難しく、結束が固いとはいえないという所もあります。(苦笑)

ゼミ生には、自由な発想で(かつ主体的に)いろいろなものを作ってもらいたいです。



# 先生ってこんな研究してるんだ!!

～ 情報大の先生の研究を紹介します! ～



医療情報学部 医療情報学科

## 中林 秀和 先生

**Q1 先生は、大学で何を学び、どのような学生生活を送っていたのですか？**

昭和 43 年といえば学生紛争真っ盛りで、岡山大学・理学部に入学しても授業を受けたのは 1 年生の間くらいでした。卒業までストで大学閉鎖、卒論研究以外は殆ど何も習わず卒業しました。その後は医学部に移りガン研究を始めましたが、一から自分で勉強しなくてはならず随分と苦労しました。ラットやヒトの肝臓細胞を培養し、癌化させる研究です。ここで樹立した高分化型ヒト肝癌細胞株 (HuH-7) は、現在も世界中で多くの研究に使われています。カナダ・カルガリー大学では肝癌の腫瘍マーカー遺伝子の研究を始めました。実験だけで一日 16 時間、その合間に論文の執筆など充実した研究生活を送ってきました。ガン細胞に特異的な腫瘍マーカーは、ガン細胞でのみ発現している遺伝子で、これを利用した遺伝子療法を試みました。カナダには 12 年ほど居ましたから、研究の合間にロッキーマウンテンなど素晴らしい景色を沢山見て周りました。その後、北大の医学部に誘われ、継続して研究を続けました。この時、北海道に来たのですが、間もなく 20 年と北海道が私の人生の中で一番長くなりそうです。

**Q2 先生の研究分野のことを教えてください。**

学生の皆さんは、入学当時はまだ飲酒が禁じられていますが、間もなく部活など新人歓迎会などで初めてお酒を飲む機会がやってきます。このお酒ですが、急性アルコール中毒などで若い学生の死亡事故が度々伝えられます。北海道の人は「酒豪遺伝子」を持つ人が多いのですが、弱い人が 30% ほど、全く飲めない人が数% います。これはアルコールを無毒化する遺伝子のタイプを調べることで容易に検査できます。自分の遺伝子型を予め知っておけば、飲酒による事故を防ぐことができます。

**Q3 先生の研究は今後どのような役に立ちますか？**

現在ヒトの全塩基配列が明らかにされ、ヒトによって異なった 1,000 万箇所の一塩基多型 (SNP) が明らかにされています。父母から受け継いだ遺伝子は、様々な組み合わせで発現しますが、病気の罹り易さや、薬の効き方なども遺伝します。これらのデータを基に、色々な疾患、特に生活習慣に関連した遺伝子変異が世界中で調べられています。ゲノムワイド関連解析といって、例えば 10 万人単位で糖尿病患者と健常者の遺伝子を調べ、疾患に特異

的なリスク遺伝子を探すことができます。予め遺伝子型を知って、危険因子を防ぎ病気にならないように生活習慣を改めることが可能です。これを個別化医療、オーダーメイド医療といって個人に合わせた予防医学として役立ちます。

**Q4 先生のゼミ生達は、どのような研究をしているのですか？**

現在、生活習慣に関係する肥満遺伝子、ガン関連遺伝子、アルツハイマー病のリスク遺伝子などの簡易な検査法を開発しています (参考: 北海道情報大学紀要、第 25 巻、第 1 号、73~82, 2013)。バイオ技術は、再生医療、ガン治療法の開発など急速に進んでいます。他にも長寿遺伝子やガン耐性遺伝子など興味深い遺伝子に関する研究を行っています。

**Q5 先生が本学の学生に伝えたいことは何ですか？**

この世界には様々な事象がありますが、研究とはその中で明らかにしたい現象を普遍的かつ客観的に解明して行くことです。様々な疑問に対して仮説 (Hypothesis) を立て、実験 (Experiment) により検証 (Verify) する。この検証が大変で、研究の大半がこの検証のための実験に費やされます。実験がうまく行かないのは、どこかにミスがあるからです。このミスの原因を明らかにして初めて成功しますし、それが経験になり二度と同じ間違いはしない。ミスをしないと成長しないのです。ミスを恐れるのではなく利用する、これは実生活に於いても役に立ちます。何処に問題があるか、一つ一つ検証することで問題を早く確実に解決することができます。大学での勉強や研究を通して、このような科学的思考方法を習得しましょう。

# 大学主要行事など <11月1日~2月29日>

## ◇◇ 教職員の動向 ◇◇

### ◇大 学◇

#### 《事務職員》

12月1日付

(昇 任)

広報室課長 小松田 昭人(広報室課長代理)

(配置換)

学生サポートセンター事務室長補佐 田中 克義(広報室長補佐)

(兼 務)

広報室長補佐 田中 克義(学生サポートセンター事務室長補佐)

《事務職員》

2月1日付

(配置換)

総務課用度係主任 中田 圭亮(会計課用度係主任)

## ◇◇ 主要行事 ◇◇

### ◇法人本部◇

12月 2日(水)~12月 4日(金)有限責任監査法人トーマツ「平成 27 年度期中監査」

2月18日(木) 理事会・評議員会

2月29日(月)~3月 2日(水)有限責任監査法人トーマツ「平成 27 年度期中監査」

### ◇大 学◇

11月 2日(月) 教育研究評議会

5日(木) 通信教育部教育責任者協議会

8日(日) AOセミナー、キャンパス見学会

12日(木) 国際コラボレーション報告会

13日(金) 全学教授会

20日(金) 経営情報学部教授会

21日(土) 酪農学園大学との交換授業、ふるさと江別塾

教員免許更新講習認定試験

27日(金) 医療情報学部教授会、情報メディア学部教授会

29日(日) 推薦1期入学試験

30日(月) タイ王国・クリスチャン大学一行 来学

### 12月

5日(土) 編入学試験

6日(日) キャンパス見学会

7日(月) 教育研究評議会

11日(金) 全学教授会

12日(土) 教員免許状更新講習認定試験

18日(金) 経営情報学部教授会

19日(土) 特別AO入学試験(A日程)

20日(日) 大学説明会

25日(金) 医療情報学部教授会、情報メディア学部教授会

1月 8日(金) 教育研究評議会

11日(月) 推薦2期・特別入学試験

12日(火) ポスターコンテスト表彰式

15日(金) 経営情報学部教授会

16日(土)~17日(日) 大学入学者選抜大学入試センター試験

22日(金) 医療情報学部教授会、情報メディア学部教授会

23日(土) 特別AO入学試験B日程

教員免許状更新講習認定試験

南京大学留学準備クラス聴講生学部・学科・専攻入学試験

特別外国人(南京大学推薦者)編入学試験

24日(日) 大学説明会

保護者対象進学資金説明会

25日(月) ビジネスプレゼンテーションコンテスト表彰式

27日(水) 英語プレゼンテーションコンテスト表彰式

28日(木)~30日(土) 合同試験

29日(金) 全学教授会

2月 1日(月) 教育研究評議会

2日(火)~3日(水) 一般1期入学試験

4日(木)~14日(日) 冬期集中授業

5日(金) タイ王国 スアン・スナダハ・ラジャバット大学一行 訪問

12日(金) 全学教授会

入学前教育プログラム(仲間作り)

14日(日) 診療情報管理士認定試験

15日(月)~20日(土) 追再試験

19日(金) 経営情報学部教授会

特別AO入学試験(C日程)

22日(月) 大学説明会(東京)

23日(火)~24日(水) 入学前教育プログラム(学習支援)

23日(火)~28日(日) メディアデザイン展

26日(金) 医療情報学部教授会、情報メディア学部教授会

保護者の会役員会

27日(土) 大学説明会

保護者対象進学資金説明会

29日(月) 編入学試験(3次募集)

### ◇大学院◇

11月11日(水) 研究科委員会

12月 3日(木)・7日(月)学位論文等事前審査会

1月12日(火) 研究科委員会

1月29日(金) 学位論文等公開発表会

2月 5日(金) 大学院入学者選抜試験(2次募集)

2月22日(月) 学位論文等事前審査(再)

### ◇通信教育部◇

11月 5日(木) 教育責任者協議会

11月 6日(金) 平成 27 年度秋期第 2 期入学者選考

11月13日(金) 平成 28 年度春期第 2 回入学者選考

11月21日(土)~22日(日) 後期印刷・インターネットメディア授業科目試験①

12月 7日(月)~10日(木) 後期IPメディア授業科目試験

12月11日(金) 平成 28 年度春期第 3 回入学者選考

12月11日(金)~13日(日) 後期地方スクーリング(1)(札幌、秋田、東京、名古屋、大

阪、広島、北九州、福岡、沖縄第 2)

1月 8日(金)~10日(日) 後期地方スクーリング(2)(本学、東京、名古屋、福岡、鹿

児島)

1月22日(金) 平成 28 年度春期第 4 回入学者選考

1月23日(土)~24日(日) 後期印刷・インターネットメディア授業科目試験②

1月28日(木)~30日(土) 後期地方スクーリング(3)(本学)

2月11日(木)~14日(日) 冬期スクーリング

2月19日(金) 平成 28 年度春期第 5 回入学者選考

## ◇◇ 広報活動 ◇◇

### 《進学相談会》

11月: 北海道 23 会場(旭川、札幌(5)、知内、八雲、せたな、紋別、北見、釧路、帯広、

上川、深川、新札幌(2)、苫小牧、室蘭、函館、浦河、静内、岩見沢)

埼玉県 1 会場(さいたま)

12月: 北海道 19 会場(江差、七飯、名寄、大樹、札幌(3)、釧路、帯広、滝川、留萌、天

塩、伊達、富良野、旭川、北見、倶知安、小樽、苫小牧)

1月: 北海道 2 会場(紋別、中標津)

2月: 北海道 5 会場(稚内、名寄、登別、函館、深川)

### 《高校内ガイダンス》

11月: 北海道 10 校(北星学園女子高校、広尾高校、石狩翔陽高校、とわの森三愛高

校、小樽桜陽高校、函館大妻高校、クラーク記念国際高校[大通キャンパス]、旭

川大学高校、札幌龍谷学園高校、遺愛女子高校)

東京都 1 校(東海大学菅生高校)

12月: 北海道 7 校(札幌北斗高校、札幌第一高校、札幌創成高校、寿都高校、江別

高校、武修館高校、帯広大谷高校)

神奈川県 2 校(横浜創学館高校、相洋高校)

1月: 北海道 1 校(蘭越高校)

2月: 北海道 3 校(津別高校、追分高校、函館大妻高校)

### 《高校内進路講演会》

11月: 北海道 6 校(倶知安高校、旭川龍谷高校、八雲高校、富川高校、池田高校、

札幌東豊高校)

12月: 北海道 7 校(中標津高校、双葉高校、函館商業高校、森高校、クラーク記念国

際高校[大通キャンパス]、美瑛高校、釧路商業高校)

1月: 北海道 1 校(蘭越高校)

2月: 北海道 8 校(東藻琴高校、旭川実業高校、海星学院高校、旭川大学高校、小

清水高校、室蘭東翔高校、真狩高校、美瑛尚栄高校)

### 《高校出張講義》

11月: 北海道 7 校(札幌啓北商業高校、釧路東高校、月形高校、札幌山の手高校、

雄武高校、札幌南陵高校、江別高校)

12月: 北海道 4 校(江陵高校、清里高校、小清水高校、穂別高校)

1月: 北海道 1 校(新得高校)

### 《高校訪問》

11月: 北海道 99 校、秋田県 16 校、千葉県 2 校、東京都 2 校、神奈川県 2 校

12月: 北海道 154 校、茨城県 1 校、埼玉県 2 校、東京都 6 校、神奈川県 2 校

1月: 北海道 103 校、埼玉県 2 校、千葉県 1 校、東京都 3 校、神奈川県 2 校

2月: 北海道 105 校、神奈川県 1 校

### 《キャンパス見学会》

11月 8日(日) 本学

12月 6日(日) 本学

### 《大学説明会》

12月20日(日) 本学

1月24日(日) 本学

2月27日(土) 本学

<大学進学資金説明会(保護者対象)>

1月24日(日) 本学

2月27日(土) 本学

### ◇通信教育部入学説明会: 本学独自◇

12月: 3 会場(本学、東京(2回))

1月: 3 会場(東京(2回)、福岡)

2月: 2 会場(本学、東京)

◇北海道情報大学通信教育部 合同入学説明会: 私立大学通信教育協会主催◇

1月: 2 会場(仙台、東京)

2月: 10 会場(札幌、さいたま、東京、横浜、金沢、名古屋(2回)、大阪(2回)、福岡)

## ◇◇ 主な来学者 ◇◇

### ◇広報室来学者◇

11月 4日(水) 岩見沢緑陵高校(大学見学会: 生徒 57 名、教員 1 名)

11月 5日(木) 旭川龍谷高校(大学見学会: 生徒 25 名、教員 1 名)

11月11日(水) 恵庭南高校(大学見学会: 生徒 17 名、教員 1 名)

12月10日(木) 夕張高校(大学見学会: 生徒 4 名、教員 1 名)

12月17日(木) 恵庭北高校(大学見学会: 生徒 14 名、教員 1 名)

12月18日(金) ニセコ高校(大学見学会: 生徒 24 名、教員 2 名)

1月13日(水) 本別高校(教員 1 名)

### ◇国際交流関係来学者◇

11月11日(水) タイ国スアン・スナダハ・ラジャバット大学からの表敬訪問(3名)

11月30日(月) タイ国クリスチャン大学からの表敬、研修訪問(34名)

12月 7日(月) 南京大学海外教育学院からの表敬訪問(5名)

2月 5日(金) タイ国スアン・スナダハ・ラジャバット大学からの表敬訪問(7名)

# ななかまど 編集隊 vol.65

はじめましてこんにちは

堀越ことこっしーです！

新入隊員が5人も入隊しました！

今回はノイモンドオーガニックカフェ本店にて、  
自分のキャッチコピーを考えてみました。



堀「新入隊員 No.1、江良くんから〜」  
江「はじめまして、江良周悟です、、、初めてなので優しく教えてもらえたら嬉しいです。キャッチコピーは、、、」  
諸「NO RED NO LIFE」  
越「赤すきなの？」  
江「はい、好きなんです、、、」  
堀「編集長サリーちゃんどうですか？」  
越「採用！」  
全員パチパチ (拍手)  
堀「はい、次、新入隊員 No.2 諸岡くん〜」  
諸「はじめまして〜諸岡健吾です〜綺麗事なんです、編集をしながら楽しめるように頑張りたいです！僕のキャッチコピーは、、、三度のメシより写真です！」

全員「・・・」  
諸「え、、、？ちょっとこれは、、、(焦)」  
堀「江良くんどう思う？」  
江「いいと思います、、、(てきとー)」  
鹿「編集長どうですかね？」  
越「え、今なにになったんだっけ？」  
全員「(笑)」  
諸「三度の飯より写真です。」  
越「いいんじゃない？(てきとー)」  
堀「私の中だとね、(服がいつも緑色でブランドがコロンビアだから) 緑なんだよね。緑のコロンビアって感じ」  
越「三度の飯よりコロンビアの方がいいんじゃない？あ、コロンビアでいいんじゃない？」  
諸「ラテン系みたいな感じになってますが大丈夫ですかね？」  
堀「大丈夫だよ〜(笑)」  
諸「じゃあコロンビアで！」  
江「パシャっパシャっ (カメラ音)」  
堀「はい、鹿野ちゃん！」  
鹿「広報担当になったので Facebook をたくさん見てほしいです。私はね、結構怠けてるから、なまけたガールなんだよね〜」  
全員「うまい!!! (拍手)」  
鹿「高校時代の友達につけてもらってからずっとこれなんだよね」  
越「その友達すごいね！」  
全員「すごい！」  
堀「次、サリーちゃん！」  
越「編集長になったのかな!? よろしくおねがいします。コピーかーなんだろうね〜、、、」

堀「私のイメージだと、髪の毛巻いてドレス着てるイメージ！」  
越「着てないから〜(笑)」  
堀「でも、意外とお酒がすきなんだよね」  
諸「のんべえサリーちゃんってどうですか？(笑)」  
越「じゃあそれにするかな！」  
堀「決定〜〜」  
江「パシャっパシャっ (カメラ音)」  
鹿「こっしーはね、、、」  
全員「きのこ」  
鹿「なんだよね」  
堀「うん、よく言われる」  
諸「三度の飯よりきのこはどうですか？」  
鹿「まぜようとするな (笑)」  
堀「はい、きのこで！のんびりマイペースに頑張りたいと思います!!! 最後に編集長のありがたいお言葉をどうぞ！」  
越「えっありがたいお言葉!? んーっと、みんな締切りはちゃんと守ってね。守らないとこっしーが「こらっ」って怒るから (笑) でも、楽しむこと大事だからね！楽しまないとやってらんない (笑) とりあえず、がんばろう！」  
堀「私はそんなに怒りません (笑)」  
全員「これからも何卒よろしくおねがいします〜!!!」



## 編集隊募集中なのです、、、

現在、ななかまどと一緒に編集してくれるかたを募集しております。興味があったり、やる気がある方なら学年を問わないので、ぜひ一緒にななかまどを作りましょう！

気になった方、参加したい方は情報メディア学部・川上研究室 (228) までお越し下さい。

## 不参加メンバー



今年もキャラが濃い隊員たちで作成していくのでよろしくおねがいします〜残りの新入隊員は次回登場するかも!? お楽しみに〜!! (7/7カ)



Facebook チェックしてね!